

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年11月17日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	矢島多佳子

1.開催日時	2022年11月11日	(金)	19:30	～	21:00
2.会場	リモート開催				
3.主催センター	鶴川2 ・ 鶴川1 ・				
4.参加人数	33名				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 7 人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 2 人				
	☒ 医療関係者 3 人 (うち、医師 人) ☒ 介護事業者 12 人				
	☐ 民生委員 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☒ 行政 1 人				
	☒ その他 (薬局7人 スズケン1人)				
6.開催テーマ	「コロナに負けない町、つるかわ」を目指して～オーラルフレイルを考える～				
7.地域課題	(1)課題設定の背景				
	コロナ禍で、フレイル状態の高齢者が増えているが、オーラルフレイル(口腔機能の低下)については、まだ認知度が低く、医療・介護専門職も、その重要性を十分に理解できていない。 (2)検討した地域課題 オーラルフレイルの早期発見には、口腔歯科健診が有効だが、受診率を上げるには、医療介護の専門家が、地域の人たちにどう伝え、どこにつなぐか？どんなツールが必要か？				
8.会議の内容	・11/25開催予定の圏域合同地域ケア推進会議の内容について、最終調整を行う。 当日「私たちが取り組めるオーラルフレイル予防」「高齢者の歯科口腔機能健診の受診率を高める効果的な方法」について9グループに分けて討議を行う。 グループディスカッションを効果的に進める為に、グループ毎に進行役を配置し、リーダー間で統一が図れるよう事前打合せを行う。 ・フレイル予防リーフレット・レシピ設置状況報告。毎月約200レシピが市民の手に渡っている。効果判定には時間がかかるが、長期的に継続し普及に務めていく。				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	11/25圏域合同地域ケア推進会議で、専門職間のグループワークを行い、共有された意見から、今後住民に、オーラルフレイル予防をはじめとしたフレイル予防の周知について、どのようにアプローチを行うのか、以降の推進会議で検討を行う。				

医療と介護の連携支援センター 確認日

11月17 日